



資料館だより

No.21
2008年
11月号

過去と未来がひびきあう

ようこそ、エコミューズへ

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

現場を歩いて、声を聞く 司法修習生10人が西淀川区で研修



裁判記録の写真を見る修習生

司法修習生10人が、弁護士2人とともに10月28日(火) 公害訴訟を学びに西淀川区を訪れました。阪神 出来島 駅に集合し、国道43号や大気汚染測定局、デイサービス施設「あおぞら苑」などを見学し、あおぞらビルに到着。被害者の語り、エコミューズで裁判記録を閲覧するなどしたあと、国土交通省大阪国道事務所の担当者から、道路環境対策について説明を受けました。さらに西淀病院に場所を移し、公害患者の治療にたずさわる医師より、患者の現状や大気汚染訴訟において医師が果たした役割について説明を受けました。盛りだくさんのプログラムでしたが、それぞれの立場からの生の声をお届けできたのではないのでしょうか。

西淀川公害の展示パネル いよいよ完成

昨年の11月から西淀川公害の展示パネルを作成するための募金を呼びかけてきました。皆さんの協力のおかげで目標額50万円が2008年3月末までに集まりました。ありがとうございました。

あおぞら財団が始まってからの12年間、収集・整理してきた公害問題資料や証言等が展示パネルという形でその成果の一部を示すこととなりました。ぜひ現物を見にエコミューズに足を運んでください。お待ちしております。



展示パネルはエコミューズにて常設しています。貸し出し用もありますので、詳しくはお問い合わせを。フルカラー-B2版計13枚(表紙含む)

【西淀川公害展示パネル おひろめ会】

新しくできた展示パネルをおひろめし、パネルに登場する人々と交流する会を開催します。ぜひご参加ください。

日時 12月12日(金) 15:00~20:00

15:00~18:00 展示閲覧(ご自由にご覧ください)

18:00~20:00 展示説明会(要申込)

場所 エコミューズ

参加希望の方はご連絡ください。連絡先は裏面。

公害・環境問題資料の保存と活用 行ってきました みなまた

公害 環境問題に関する資料をどうやって保存し、活用していくのか。その先行事例を自分たちの目で見てこようと、9月4日(木)~6日(土)、熊本県水俣市を訪れました。水俣では2003(平成15)年度より国立水俣病総合研究センターが「水俣病関連資料総合調査事業」に本格的に着手しており、市民団体が所有する資料も含めてその所在や内容についてデータベース化していこうとしています(詳細はリベラNo81/2004年11月号)。



水俣病巡礼八十八ヶ所
一番札所のお地蔵さま

今回の訪問では、同センターの施設「水俣病情報センター」



水俣病情報センターと水俣病資料館のスタッフにヒアリング

をはじめ、水俣市立水俣病資料館、(財)相思社、水俣病被害者の会全国連合会にて、資料保存と活用の現状や課題などについてヒアリングをおこないました。相思社や被害者の会では、膨大な資料が蓄積されており、これらの資料を着々と整理されている様子がわかりました。また、水俣病情報センターや水俣病資料館では、迫力のある展示品の数々を見ることができました。

「水俣病」を世界、そして後世へ伝えていくための資料を収集し、保存し、公開・活用できるように整理していく取り組みは本当に壮大



最終日は少し足をのばして、「村丸ごと生活博物館」を体験してきました。棚田の景色が素晴らしい!

なプロジェクトです。しかし、どんなに大きなプロジェクトでも、まずは、目の前にある課題に着実に取り組んでいく。そうすることで、一歩ずつ前進していくのだと実感しました。

お知らせ あおぞら財団機関紙「リベラ」の今号(08年11月号)の特集テーマは、「資料館の活動」です。ぜひ、本紙とあわせてご覧ください。ホームページでもどうぞ。 <http://www.aozora.or.jp/lbela.htm>

もりもとまきの アーキビストの目 所蔵資料紹介



子どもたちに伝えたい

今回は、小学3年生用社会科副読本『わたしたちの西淀川 平成10年版』(西淀川区社会科研究部編)をご紹介します。『わたしたちの西淀川』は、1966(昭和41)年に初版が発行されました。私コレ使ってた!という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。執筆・編集したのは区内の小学校の先生方です。B5サイズ・72ページ+B4サイズ図表2ページの白黒印刷に、先生方が子どもたちに伝えたい、西淀川地域

のさまざまなことが詰まっています。

たとえば、区内にはどんな工場や商店街があるのか。どんな道路や電車が通っているのか。むかし漁業や農業がさかんだったこと。新淀川ができた理由。台風や空襲で受けた大きな被害。どうして『住吉神社』がたくさんあるのだろう。神社やお寺に残る歌碑や石碑、お祭りの由来。漁業を守るための取り組み。阪神・淡路大震災で被災したこと。地域の豊かな歴史や人々の暮らしが、いきいきと伝えられています。西淀川公害についても触れられ、公害病で苦しんでいる人は、おとしりや赤ちゃん、小さい子どもも多く、わたしたちの友だちの中にもいます」と、公害が身近な問題であることを知らせています。平易な言葉と分かりやすい図表やアーキビストとは、文書や資料の収集・整理・保存に関わる専門家のことです。



写真で、西淀川地域のむかしといまを、地域の小学生に伝えるこの副読本。現在、区で、このような小学生向けの副読本や教材は無いそうですが、地域の過去・現在・未来を知ることの楽しさ、大切さを、教えられる一冊です。

ブログ版スタート!
<http://aozorabsw.exblog.jp/i11/>



こんにちは新着図書です

小田康徳(編)『公害 環境問題史を学ぶ人のために』世界思想社、2008年



エコミューズの館長 小田康徳・大阪電気通信大学教授がまとめた書籍が発刊されました。小田館長の同書解説文の一部を紹介します。

この本を読めば、1960年代から70年代初めにかけて展開した激しい公害 環境破壊は、戦前の公害経験を忘れ、ひたすら産業発展を優先した結果だったことに思いを寄せることができるでしょう。また、現在強力な力を持っている環境重視の思想は、困難ななか人間の尊厳と人権の尊重を厳しく追及してきた被害者 住民・ジャーナリズムそして国民の努力と運動の成果だったことが分かってきます。そして、現在の地球環境問題は、過去の公害問題と決して無縁でないことも明らかになってきます。

できるだけ多くの人びとに読んでいただき、この方面の知識の確立に広く寄与できれば、こんなうれしいことはありません。」

あおぞら財団にてお求めいただけます。(一冊2,000円税抜き)

★お知らせ★
エコミューズ活動資金「ハモン基金」
寄付協力をお願い
エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空へつながります。
寄付の方法
郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。
【口座】十万円 / 一万円 / 千円
【口座番号】
01248931

加入者名「あおぞら財団 通信欄」に「ハモン基金」の寄付とご記入ください。一口の金額はお選びください。
ボランティア隊
あなたも「エコミューズ」募集中
入っちゃおう! 資料整理や展示、イベントの手伝いなど活躍の場がいっぱいです。
交通費 実費支給(上限2,000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください。



エコミューズの活動は
Hamon基金によって支えられています。



西淀川 私の発見 まめ情報

大野川緑陰道路

エコミューズのブラインドを開けると緑が目飛び込んできます。お隣にある大野川緑陰道路の緑です。これから紅葉が始まるので外を見るのが楽しみです。3.8キロある緑陰道路は、30年ほど前は川だったのですが公害のために埋め立てられ緑陰道路になっています。いまや、区民の宝です。ここで一句『いやな時 緑陰道路に癒される』皆さんもいやしを求めていかがですか? (H)

資料館だより No.21
2008年11月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川 公害と環境資料館
(エコミューズ)

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル 5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
<http://www.aozora.or.jp/shiryou/>



エコミューズは
青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害 環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください。
開館 月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM ~ 5:00PM [要予約]
利用 図書の貸し出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ